

## トヨタ紡織、日本政策投資銀行から DBJ 環境格付で最高ランクを取得

トヨタ紡織株式会社は、株式会社日本政策投資銀行（以下、DBJ）の「DBJ 環境格付」で「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しました。

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するという融資制度です。

今回の格付では、特に以下の取り組みが高く評価されました。

1. 自動車業界を取り巻く環境変化を踏まえ、2030年に目指す姿として「インテリアスペースクリエイター」を掲げ、実現に向けたマテリアリティとその進捗を測る非財務 KPI を設定し、中期経営計画への反映や全社横断的な体制での進捗管理を行うとともに、特に環境面では 2050 年環境長期ビジョン及び 2025 年環境取り組みプランを策定し、国内外グループ会社を含めた環境マネジメントを展開するなど、長期的な経済的価値と社会的価値の両立を目指す CSV 経営を推進している
2. スコープ 3 を含む長期的な CO<sub>2</sub> 排出量の削減など、製品を通じたライフサイクル全体での環境負荷低減に向けて、「カーボンニュートラル戦略ロードマップ」及び製品に関する技術ロードマップを作成したうえで、軽量化による燃費向上、植物由来素材への材料置換、及び易解体設計やリサイクル材使用による資源循環に加え、トヨタグループ各社とも連携した電動化や自動運転化に向けた技術開発等、多面的な取り組みを実践している
3. サプライヤーに対する省エネ手法の共有や脱炭素目標の設定支援のほか、2次・3次サプライヤーを含めたセルフアセスメント調査及びその結果に応じたフィードバックを実施するとともに、人権デュー・ディリジェンスによる人権リスクの把握、LEAP アプローチに沿った生物多様性・自然資本への影響分析を行うなど、持続可能なサプライチェーンの構築に精励している

トヨタ紡織は、これからもインテリアスペースクリエイターとして快適な移動空間を実現し、製品、顧客の幅を広げながら社会課題の解決に貢献している会社を目指します。

